

II 生 態

1 産卵生態

1) 産卵期および産卵場

ハマフエフキの産卵期、産卵場については、漁獲試験調査、漁獲物購入資料による熟度調査、および聞き取り調査により推定し、図-9に示した。

喜屋武岬沖での産卵は、50m等深線と100m等深線のはぼ中央にある浮ソ曾根周辺で、3月下旬から4月上旬に初まり、産卵親魚は沖合から次第に接岸し、4月中旬から5月上旬には、50m等深線の内側にある中ノ曾根周辺に産卵移動する。

中城湾海域での産卵場は、久高島北側の30m等深線から湾口部にかけての50m等深線の突き出た海域の範囲である。この海域での親魚の越冬場は、久高島東側の水深70mから80mにあり、ここで越冬した親魚は3月上旬から3月下旬にかけて次第に接岸し、湾口部および湾内へ移動するものとみられる。この時期には、同海域で熟卵を持った親魚がかなり漁獲されていることから、この海域が主産卵場となるようである。また産卵は、3月下旬から4月上旬に初まり、6月頃まで続くものと推定される。

金武湾海域での産卵は、50m等深線の突き出た海域にあるメングイ礁で4月から5月、その後湾内へ移動し、5月から6月頃まで続くようである。

産卵期推定に当っては、漁獲物および購入資料による熟度調査を並行して実施した。それによると熟度指数 ($GW^{1/2} \times 10^5$) のピークは、雌雄共に4月上旬から4月下旬にみられることから、この時期が産卵盛期となるものと思われる。一方、6月の個体にも完熟卵および中熟卵を持つ個体がみられることから、産卵は、7月上旬から7月中旬頃まで続くものとみられる。

表-6 ハマフエフキの生殖腺調査結果

調 査 年月日	調査尾数	尾又長(cm)	体 重 (g)	生殖腺重量(g)	熟 度 指 数	熟度指数 平均 値
47年 10・25	6 ♀ ♂ 1	490-535 530	2100-2750 2750	0.70-6.60 260	0.56-5.52 1.74	3.75 1.74
12・14	7 ♀ ♂ 1	482-552 502	2000-3155 2350	6.25-16.70 3.33	5.58-12.96 2.63	9.38 2.63
48年 1・31	13 ♀ ♂ 4	480-545 500-525	1890-2880 2290-2620	1.15-30.25 3.40-7.840	1.0-20.26 23.49-60.87	9.71 37.60
3・9	11 ♀ ♂ 2	480-600 560-575	1860-3800 2920-3420	2.82-10.795 4.40-1.880	1.894-5.543 2.50-9.88	4.087 6.20
4・2	8 ♀ ♂ 4	560-645 560-675	3140-4320 2880-4760	1.17-1.87 3.63-1.97	4.915-6.969 1.385-6.406	6.328 4.265
6・21	11 ♀ ♂ 5	485-660 480-580	1690-4340 1820-2870	1.23-2.224 6.3-5.50	4.01-7.736 4.75-4.973	3.478 2.478
8・29	8 ♀ ♂ 3	460-520 515-520	1510-2290 2120-2240	2.20-5.72 1.23-4.84	1.56-5.69 0.87-3.44	3.60 1.86
49年 4・20	13 ♀ ♂ 4	485-595 545-705	1860-3540 2420-5580	8.10-22.50 3.010-3.400	6.48-13.471 1.119-9.913	7.3.22 3.625
5・25	10 ♀ ♂ 4	475-630 550-570	1780-4120 2560-2820	1.05-9.75 2.5-2.57	4.86-3.899 1.35-1.425	2.466 7.39
50年 1・14	6 ♀ ♂ 3	480-490 4.95-5.05	1730-2200 2.230-2.240	2.23-2.38 1.8-3.1	1.946-2.023 1.40-2.56	1.9.95 2.04
2・7	10 ♀ ♂ 9	475 460-565	1.900 1790-3250	1.66 1.1-2.37	1.549 1.13-2.014	1.5.49 7.77